



2022年11月8日

各位

会社名 株式会社 リグア
代表者名 代表取締役社長 川瀬 紀彦
(コード番号：7090 東証グロース)
問合せ先 取締役管理部長 大浦 徹也
(TEL：06-7777-0159)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2022年5月10日に公表した2023年3月期の通期の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 連結業績予想数値の修正

2023年3月期 通期 (2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,335 ～3,535	△64 ～83	△77 ～70	△62 ～34	△44.81 ～24.75
今回修正予想(B)	2,764	△461	△480	△316	△225.76
増減額(B-A)	△571 ～△771	△397 ～△544	△403 ～△550	△254 ～△350	
増減率(%)	△17.1 ～△21.8	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	3,202	158	151	72	51.64

2. 修正の理由

2023年3月期の通期連結業績につきましては、世界的な半導体の供給不足による主要機材の入荷の見通しが不透明な状況となっていたことから、レンジ形式を採用しておりました。

当該主要機材の入荷状況は、2023年3月期下期より徐々に回復すると見込んでいましたが、今後の入荷見通しが未だ不透明な状況にあるため、「機材・消耗品」の売上高を修正(△219～△419百万円)します。また、今後の中長期的な経営戦略としてストック要素の高い安定売上を早期に獲得するため、ソフトウェアの新機能リリースに合わせたキャンペーン施策を下期にて計画しております。一時的に初期売上が減少(△167百万円)しますが、中長期的にはシステム保守料等の安定的なストック収入による増収効果が期待できることから、積極的な導入施策を促進してまいります。さらに、M&Aを含む大型コンサルティング案件等の引き合い獲得状況等を勘案したコンサルティング売上の見直しや、金融サービス事業の上期の実績を踏まえた計画の見直しを行った結果、通期連結売上高は前回予想数値を下回る見込となりました。

なお、各利益につきましては、経費削減策の実施を予定するも、売上高の減少に伴う影響をカバーするには至らず、前回の予想数値を下回る見込となりました。

※上記の業績予想は、現時点において当社が入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上